

第2期 堺市北区政策会議 第3回 会議録

日 時：令和6年11月13日（水）14時から15時30分まで

場 所：堺市北区役所3階302会議室

出席者：

【構成員】（敬称略）天野隆次、魚谷守信、加我宏之、坂江祥衣、中田萌々果、野田誠子、
羽根恵子、坊農豊彦、吉村登志子（以上9名出席）

【事務局】鈴木敏文（区長）、原田明美（副区長）、市川行則（区域活性化調整担当部理事）、
辻本多美子（北保健福祉総合センター所長）、花田智夫（新金岡地区活性化推進室
長）、出野俊之（自治推進課長）、光齋かおり（北保健福祉総合センター総括参事
役）、羽野敏博（地域福祉課長）、宮田大志（子育て支援課長）、山本美佐子（北
保健センター所長）、藤井裕子（北保健センター所次長）、樋口年秋（堺市社会福祉
協議会北区事務所長）、藤本浩一（堺市社会福祉協議会北区事務所地域活動推進
係長）、本池茂（企画総務課長）、至田義朋（企画総務課課長補佐）、増川哲（企
画総務課企画係長）、佐藤裕子（企画総務課）

会 議：公開会議

傍 聴：傍聴者数1人

1 開会

2 区長あいさつ

○鈴木区長 皆様、こんにちは。

本日、構成員の皆様におかれましては、お忙しい中、北区政策会議第3回に出席いただきまして、誠にありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。

ご承知のとおり、北区では「みんなのまちビジョン」の中で、将来像「いろんな『たのしい』でつながる街・北区」、これを北区政策会議の初年度に掲げまして、区民が主体的に関わり地域の課題を解決する区民協働の地域共創のまちづくりをめざしています。まさにこの会議はそのための会議ということになります。

これまで、北区政策会議では、取組を3つの基本方針に分けてご意見をいただけてきました。安全・安心、子育て、魅力発信、この3つについて今まで取組を分けて話をしてきましたけれども、今回は少し視点を変えまして、将来像に向けた区民協働の道筋を示す戦略ごとに、区役所の取組事例を整理しご紹介を差し上げたいと思っております。区民協働を促す取組を振り返り、皆様にご意見をいただきたいと思います。

また、ビジョンに示す「『たのしい』でつながる街・北区」を具現化する新しい取組としまして、「はっぴーすまいるプロジェクト」という、区民参加型の取組を今実施しております。北区ってキャラクターがないんですね。机の前に置いてあるこのうさぎちゃんを、著作権を持つNPO法人に、北区の応援大使になってもらいたい

とお願いしました。中田構成員さん、ぜひ、学校で宣伝していただければ非常にありがたいし、拡散してほしいと思っています。こちらの「たのしい」取組につきましては、後でまた説明を差し上げたいと思います。

令和8年3月までが「北区みんなのまちづくりビジョン」の計画の期間になっておりまして、残る1年4か月につきましてもしっかりやっていきたいと思います。構成員の皆様のお立場、そして、今までのご経験などを活かしていただきまして、忌憚のないご意見をいただきたく思います。

それでは、本日もどうぞよろしくお願いいたします

3 会議報告

「事務局から配布資料の確認、会議の公開についての説明、傍聴人数の報告」

4 議事

○加我座長 皆さん、こんにちは。改めまして大阪公立大学の加我でございます。

ここ1週間ぐらいで本当によく秋らしくなってきて、そこかしこで落葉樹が色づいているかと思います。ケヤキのオレンジから、ソメイヨシノが一番綺麗な折になりますかね。イチョウがそろそろ黄色になるのかなと思ってございます。今日も午前中、学生の個別相談で、そろそろ卒業できるかできないかみたいなことの議論をしていたところですけども、もう11月の中旬です。あっという間にもう年の瀬が迫り、本日も慌ただしい中ではございますけれども、北区政策会議のご協力をお願いいたします。

それでは、議題に従って進めてまいりたいと思います。

まず、案件の前にはじめにということで、今、区長からもございましたが「いろんな『たのしい』でつながる街・北区」の実現に向けてということで、もう一度、「北区みんなのまちづくりビジョン」について、その中に示されてます3つの戦略について、本日は現状の取組について考えて意見交換をしたいということでございますので、改めまして事務局から資料1「北区みんなのまちづくりビジョン」についてご説明をよろしくお願いいたします。

○事務局（増川企画係長） はい、それでは資料1をご覧ください。

参考資料1の「北区みんなのまちづくりビジョン」では、北区の将来像として、「いろんな『たのしい』でつながる街・北区」を掲げ、区民が主体的に関わり地域の課題を解決する区民協働の地域共創のまちづくりをめざしています。「たのしい」をキーワードにしたこのビジョンのコンセプトは、楽しいなどポジティブな思考から自発的な新しい行動を生み出し、そのポジティブな行動により共感を呼び起こし、周囲の自発的な参加を促し、さらにいろんな「たのしい」をつなげることにより、大きな協働の「わ」へと発展させていくことを狙いとしております。

この狙いを実現するには、区民の皆さんの豊かで柔軟な発想により、区民の皆さん自らが行動を起こすこと、区民の皆さん同士が無理なくつながり行動を持続させ広げていくことが必要です。

2ページをご覧ください。

ビジョンでは、区民の皆さんが主体となり、いろんな「たのしい」でつながるために3つの戦略を立てています。戦略Aは、「たのしい」ことを新しく始められるよう、行動のきっかけを作ります。戦略Bは、「たのしい」が横に広がり縦に掘り下げられるよう、つながる機会を作ります。戦略Cは「たのしい」で協同の意識を醸成できるよう、つながりを継続させる仲間を作ります。この3つの戦略が互いに相乗的に循環し、区民活動の輪を広げていくことを「いろんな『たのしい』でつながる」を実現するための道筋としております。

それでは、次の資料 2 からは、区民の皆さんによる活動が活性化できるように、これまで区役所が取り組んできました事例を戦略ごとに整理しご紹介いたします。構成員の皆様には、戦略の道筋に沿って区民活動を促すものとなってこられたかについて、振り返りをしていただきたいと思います。

最初に、「たのしい」ことを新しく始める、行動のきっかけを作る戦略 A の取組です。

まず、区民の声を聞き取り、区役所自身が新たに区民協働の取組として行動した事例です。区域に関するご提案、ご意見をお聞きして、身近な区役所として直接対応する区長直行便では、「新金岡駅の地下道に賑わいを」というご意見をいただき、大阪メトロさんご協力の下、新金岡駅の地下道の壁を北区の魅力を発信する場として活用いたしました。

次に、住んでいるからこそ存じの地域のおすすめ魅力を、Instagram の投稿により教えてもらい、その情報や写真を基に北区の魅力スポットをまとめた冊子「ふらっと北区」、参考資料 2 を作成しました。

次に、子育て世帯交流の場では、参加者の子育ての生の声をまとめ、より多くの方に子育てのお役立ち情報として参考にしてもらえるよう、「先輩パパママはこうして乗り越えた 子育ての悩み Q & A B O O K」、参考資料 3 を作成しております。

続きまして、区民の皆さんに新たな一步を踏み出してもらうための興味・関心を引き起こす企画の実施です。これまで Instagram では、フォトコンテストを 3 回実施し、合計で約 2, 2 0 0 件の北区の魅力写真が集まりました。今年実施の第 3 回では、入賞作品の北区の季節の風景で来年のカレンダーを作成しまして、皆さんにダウンロードしてもらえるよう年内にホームページ掲載を予定しております。

また、防災においても S N S を活用し、各ご家庭で取り組む防災アイデアを今月から募集しております。防災に意識を向けてもらう機会をつくり、また取り組んでみたくなるアイデアを表彰し紹介することで、防災の実践を促す企画としております。

次に、防災の無関心層に興味・関心を引き起こす企画としまして、動画が完成しましたので、一部抜粋ですがご視聴いただきたいと思います。では、窓側にありますモニターにご注目ください。

(動画視聴)

○事務局(増川) ご視聴ありがとうございました。

この動画は、防災の無関心層にも意識を向けてもらおうと、キャンプを入り口にした動画を楽しみながら防災の意識・知識を身につけてもらうことを狙いとしております。大泉緑地で撮影し、阪神・淡路大震災の被災者でキャンプ系ユーチューバー Mr S Y U さんと北区のカブスカウトの子どもたちにご出演いただいた作品です。公開後まだ半月ですが、3 編の視聴数合計は 4, 0 0 0 回を超え、多くの方にご視聴いただいております。

続きまして、5 ページにお進みください。

「たのしい」が横に広がり縦に掘り下げる視点を持つ、つながる機会を作る戦略 B の取組です。ニーズや特性に応じて事業化や既存事業を改善してきました。Instagram では、北区の魅力を教えてもらうのに、当初、投稿写真に説明コメントを求めていましたが、もっと気軽に投稿してもらえるようにと、写真説明がなくても撮影場所だけを教えてもらえれば O K とするルールに改めました。また、「いいね」など反応のよい飲食店

舗について、頻度を高めて紹介するよう改めました。運用の見直しにより、皆さんからのタグづけ投稿は活性化し、教えてもらった魅力発信を重ねるごとにフォロワーを獲得しまして、現在では3,200弱のフォロワーに拡大しております。

次に、ホームページでは、忙しくて防災が実践できていない現役世代に向けまして取組のきっかけにしたいと、区役所からだけではなく、区民や地域の皆さん同士で防災を呼びかけあう「北区みんなで防災ホームページ」を開設しております。

次に、6ページにお進みください。

区民の声から生まれ、仲間に広がった男性の育児参画促進の取組をご紹介します。子育てひろばに参加されていた、育児休業中パパの「地域に住むパパ同士の交流会をしたい」とのご意見をきっかけに、パパ向け交流会「ジブン進化88（パパ）号」が昨年より始まりました。父親の育児参加を促し、地域のパパ友をつくっていただく場として開催し、参加者からは「子育て中のパパ同士の会話が楽しい」「パパに限定されているのが新鮮でよい」「自分と同じ立場の方がいるというだけで嬉しかった」など、好評のお声をいただいております。そして、この交流会から「知識ゼロからわかるパパの子育てお悩みお助けBOOK」、参考資料4が生まれました。交流会で出た意見や育児休業を取得したパパの体験など、もっと多くの方にも伝えたいというパパさんたちの想いにより冊子を作成し、男性も育休を取ったほうがいいのか、育休中に何をしたらよいか、育休復帰後の心得などを紹介しております。

続きまして、7ページにお進みください。

区民がつながるイベント等を、様々な関係者の皆様と一緒に企画・実施してまいりました。まず、この北区政策会議では、ビジョンの基本方針に基づき、構成員の皆様からいただきましたご意見を参考に、安全・安心、子育て、魅力発信の取組を推進してまいりました。

また、子育て世帯が多い北区において重要なイベントである「北区子育てフェスタ」では、子育て関係団体などの皆様からご意見を賜りながら、地域の支援者につながってもらう楽しい子育てイベントを企画運営してまいりました。

また、子育てに関して気になることや不安を一緒に解決する場として、地域の子育てひろば、子育てサークルや交流イベントで子育て仲間づくりを促し、仲間同士のつながりや情報交換により安心して子育てしていただけるよう取り組んでまいりました。

8ページにお進みください。

区民がつながるための情報提供です。参加者を募集する区民活動団体の一覧を整理し、ホームページに公開しております。参加したい人と参加してほしい人、団体と団体のコラボなど、区民や団体のマッチングを図っております。

9ページにお進みください。

「たのしい」で協同の意識を醸成する、つながりを継続させる仲間を作る、戦略Cの取組です。

初めに、行動を伝え合う場の設定のご紹介です。まずは北区15校区が一堂に会し、例年多くの方でにぎわいます北区の一大イベント「北区交流まつり」です。北区民が相互に連帯感を強め、まちづくり意識

の高揚を図るこの祭りですが、今年は大変残念ながら大雨警報により中止を余儀なくされました。開催を心待ちにいただいている多くの方の期待に応えられるよう、自治連合協議会の皆様とまた来年の開催準備を進めてまいりたいと思います。

10ページにお進みください。

北区役所Instagramアカウントは、北区の魅力を共有し合うプラットフォームとしての役割を担える媒体になりました。「#北区みんなで写真日記」をつけた北区の魅力投稿はこれまで7,000件以上集まり、直近1か月では約1万件のリーチのある、皆さんがおすすめしたい北区の魅力を多くの方に共有できる媒体へと成長しております。また、魅力スポットにとどまらず、子ども食堂さんやボランティア団体さん、学生さんからの活動の投稿も集まり、区民活動を紹介する役割も担っております。

次に、子育ての工夫などを子育て世帯交流の場や北区の各種媒体で募集し、「みんなの子育て体験談」として子育て中の方に参考にしていただけるよう、広報紙などで共有しております。

11ページにお進みください。

区民のつながりを北区の各種媒体で発信する取組です。一昨年7月号から北区広報紙に連載を開始した「「北区部」地域で活躍する人たち」では、これまで防災、子育てをはじめとした27の地域活動を、共感の輪が広がるよう紹介してまいりました。また、Instagramでは、百舌鳥八幡宮月見祭のふとん太鼓各町青年団とつながることができ、当事者の皆さんが撮影された迫力ある映像や裏側シーンなどの映像提供を受け、ふとん太鼓の魅力を深掘りして伝える動画を現在制作しております。

以上が、戦略に沿って整理しました取組の振り返りとなります。

構成員の皆様には、これまでの取組例に対するご意見をはじめ、行動やつながりのきっかけとなる取組に必要なこと、区民が主体的に関わるために区役所ができること、区民が主体的に関わりたいと思えるよう重視すべきことについてご意見をいただきたく存じますので、よろしくお願いいたします。

○加我座長 では、3つの戦略A、B、Cがあって、それぞれに今までの区役所を中心とする取組ということで、皆さんも毎日の生活で触れていただいている機会もあろうかと思いますが、これまでの取組例に対するご意見またご感想等、ご意見を自由にいただきたいと思います。それではいかがでしょうか。

はい、どうぞ。

○天野構成員 天野でございます。

この資料を見させていただきまして非常に感じたのは、お年寄りにターゲットを絞ったものがない。子ども、若者が中心になっていることは結構なんですけども、北区の構成比として2割ぐらいいるお年寄りの方を対象にした取組を考慮いただきたいというのが一点。

それから、SNSとかInstagramとかフェイスブックとかいろんな通信を使ったやり方は、できる人が限られ若い方が中心になると思うんです。したがって、操作が苦手なお年寄りを見放していくことにならないように、誰もが簡単にできるように、SNSについてもっと研修会を開催してほしいと思います。お年寄りには難しいという固定観念があるんですけども、やってみたら結構できるものです。私自身もフェイスブックをやって、それなりにできるんですけども、区役所の講習会に参加をさせてもらってできるようになりました。幅広いターゲット

に向けて取り組んでいただいたら、もっとみんなで「たのしい」でつながる将来像に向けて推進できるんじゃないかと思っています。

○加我座長 はい、ありがとうございます。

ほかは。そうですね、はいどうぞ。

○吉村構成員 吉村です、よろしくお願いします。

先に教えていただきたいのですが、参考資料 2 番の「ふらっと北区」、3 番の「子育て悩み Q & A」、4 番いいですね、さっとしか見ていませんがとても充実していると思います。4 番のパパに寄り添う解決ガイド、これらはどちらに配布されたり周知しておられますか。それを先にお聞きしたいのですが。

○事務局（増川） ご質問ありがとうございます。

北区役所内 2 階にございます市の情報を集めた市政情報コーナーでの配架とホームページで見ていただけるようにご案内することを基本としています。

○吉村構成員 はい、ありがとうございます。

成果物はたくさんあって中身も充実しているのですが、体験しないと「たのしい」というのは実感しないと思います。今回初めて目にしたパパの子育てお悩みお助け B O O K も、見たら面白そうっていう感覚はあるんです。でも、実際に体験しないと「たのしい」ということは実感しないと思うので、キャンプの動画もありましたけど、現ビジョンの残り 1 年 4 か月を使って、五感で体験できるような具体的な実践の機会をとところどころで作ることができればいいなと思います。また、全て終わってから検証するのではなく、途中で振り返りや検証しながら、どんな成果を目的としているかについても、改めて確認することが必要だと思います。もうこれだけの成果物があるので、やれることはたくさんあると思います。いろんな角度から実践するきっかけをつくったことで協働をスタートできていると思うんですけど、それぞれを実践する場所や機会があればいいなと思います。

それと、先ほど天野さんがおっしゃったように、高齢の方まで届ける手段がやはり必要だと思います。自分自身も知らなかったっていうことがたくさんあるので、今の時代必要と思ったら情報を取りにいくんですけど、届けることはなかなか難しい。折角これだけの成果物があるので、2 階の市政情報コーナーへ行かないと手を取れない、見られないというのではなく、SNS やホームページなどでは周知されていると思うのですが、単発で終わるのではなく、色んな取組とつながっているような見せ方ができないかなって思います。「パパの子育てお悩みお助け B O O K」は中を見たら睡眠のことまで入っているし、これって堺市が教育関係で 10 年ぐらい前からやっている「みんなく」にもつながってくると思うんですね。そんなのも関連させて北区だけで取り組むのではなく、本庁の取組ともどんどん連携して、今までやっていることをどんどん入れ込んで膨らませてもらえたらよいと感じました。

○加我座長 はい、ありがとうございます。

ほかにご意見等ございますでしょうか。はい、どうぞ。

○野田構成員 今、おっしゃられたのに関連するんですけども、まずこの「ふらっと北区」の冊子はとてもよくまとまっていますし、これを見て行ってみようっていう気持ちになるとと思いますので、折角なので区役所だけでなく、鉄道事業者とも連携して駅に置かせてもらうことで、北区民の方もそうですけれども、ほかの区とか市から来

られた方にも、北区にこういう場所があるんだっていうのを知ってもらうきっかけが作れるとよいと思います。お店とかは自分で調べて行きたいところを探す方が多いと思いますけど、こういう地域密着の公園などの情報は普通に暮らしていたらなかなか知る機会がないので、もっと設置場所を増やせるようにいろんな機関と連携を取ってもらうのがいいと思います。

天野さんがおっしゃられたように高齢の方に関してですけども、資料の 8 ページ、区民がつながるための情報提供ということで、区民の活動団体の一覧をホームページに掲載となっていますが、私が推測する勝手なイメージですけど、区民活動をされている方は、割合的には子育てがちょっと手を離れた高齢の方が多いのかなという印象があるんですね。そういった方がわざわざホームページに情報を取りにいったり何か連絡を取ってみようとするかという、ちょっと難しいのかなって思います。北区役所では、1 階の社協さんの前に活動団体、ボランティア団体の一覧が貼り出してありますよね。そういう感じで、貼り出す場所を区役所に加えて例えば活動団体さんが使っているような公民館などの施設に紙媒体で置く方法を取ることで、必要とされる方により知ってもらったり目に留めて興味を持ってもらったりするきっかけをつくれると思うので、活動場所の施設などに協力してもらえるとよくなると思いました。

○加我座長 はい、ありがとうございます。

それぞれの状況、ステージに応じて、いかに露出を高めていくかということだと思います。市政情報センターって堅苦しく聞こえますけど、実は図書館の入り口の横なんですよ。私、仕事柄、各市役所に行った時に市政情報センターへ行ったり、北区役所でも行ったりするんですけども、もしかしたらちょっとだけ図書館の入り口との関係で何となく目立ってないかもしれませんね。一番いいところにあると思うんですけども、さっき野田さんに言っていただいたように、1 階の社協のところはよく目立つんですよ。入り口の周りによく目立っているんですよ。ちょっとした工夫だと思います。ありがとうございます。

ほかございますでしょうか。はい、どうぞ。

○坂江構成員 皆様のご意見とも関連するお話ですけども、ジブン進化 8 8（パパ）号、パパ向け交流会という取組やパパ向けのお助け B O O K とか、本当に素晴らしいことをやってらっしゃると思います。いろんな形態の家庭が増えてきていて、私の周囲でもママが一般企業に勤めていて、パパが比較的時間の自由のある職業だから、パパのほうメインになって育児をやっているというご家庭もちらほらありますので。そうやって育児をしているパパってなかなか友達がつくりづらくて孤独感を感じやすい、同じ境遇の人と会うことがないみたいなこともありますので、きっとこれから需要ももっと増えていく本当に素晴らしい取組だと思います。

ただ、交流会であるとかお助け B O O K の内容というのが、かなり育児参加意識の高いパパ向けだなという感じがするんですね。パパの育児参加への意識というのが今すごく幅が広がっているところだと思っていて、お母さん方と話していると「もう、うちのパパはバリバリやるよ、育児何でもしてくれるよ」って言う人もいれば、「いや、うち全然オムツを替えないし」というパパもやっぱりまだいらっしゃるんですよ。育児に関する知識について、パパのアンテナがあまり立っていないという話をママから聞くことがあって、例えば蜂蜜はゼロ歳の赤ちゃんにはあげたらいけないとか、ミニトマトはそのままあげたら危ないとか、そういう知識がパパの頭に入っていないことが多いという、お悩みをママから聞くことが結構あるんです。ですので、育児参加意識の高い人も含め、育児

参加意識がそれほどない方の意識も上げていくイメージで、パパ向けの育児、安全に関する講座もあればいいなと思いました。

まだ、パパ向けですと言っていくことに意義のある段階だと思います。パパに普通の子育て講座に「行ってみたら」と言ったら、「いや、お母さんばかりやから行かへん」と言われるかもしれないけど、「パパ向けの家庭内の安全の講習会にぜひ参加してほしい」ということなら「まあまあ、行こうか」となるかもしれませんので。

育児情報の発信の対象でいいますと、男性のほかに祖父母世代がすごく重要じゃないかと思ってまして、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもと交流してほしいけれども、育児に関する常識が年代で変わっていて話がかみ合わないみたいな話もお聞きして、例えばチャイルドシートとか自転車のヘルメットとかに関する意識って、ここ10年20年で随分変わっていますし、あと子どもに湯冷ましを飲ませるとか果汁を与えるとか、そういう母子手帳の記述も結構変わっているところがありますので、おじいちゃん、おばあちゃんに向けて最新の育児情報が学べる場みたいなものもあるといいなと思いました。祖父母世代の育児への理解が深まることは、結構ダイレクトに子育てのしやすさにつながっていくと思います。

あとは、参加者募集团体の話ですけども、写真が載っているのが素晴らしいと思いました。堺市のホームページに団体サンプル情報というページがあって、そこにいろんな団体情報が確かに載っているんですけど、発足は何年でいつどんな活動をしているということはあるんですけど、今本当に活発に活動しているのか、男女比とか年齢層とかどんな感じなのか、活動場所はどんなところということについては、堺市のページには記載がありませんでした。ですので、実際のメンバーとか活動の様子の写真が載っていることは、本当に素晴らしいと思います。さっき野田さんもおっしゃっていましたが、より多くの場で活動をしている区民がいるということをもっと見られるようにしていくといいなと思います。

○加我座長 はい、ありがとうございます。

続いてございますでしょうか。はい、どうぞどうぞ。

○坊農構成員 専門が防災なので、防災について動画はすごく見やすくいいなと思いました。静止画で説明しているよりも、子どもさんと触れ合いながらキャンプする様子で防災について考える機会をつくることはすごくいいと思いました。

ちょっと気が付いたんですけど、「ふらっと北区」もすごく見やすくいいと思っていて、この中の地図にですけど、例えば災害が起きた時にどこに避難するかということもちょっとあったら、ふらっと北区を散歩してる時に、被災時はここに避難したらいいのかっていうことに気がつくので、防災と街の魅力の連携というところでいいかなと思いました。

やはり皆さんいざ災害が起きた時は、どこに逃げたらいいのかってあたふたするケースが多いと思います。例えば、地震が起きて津波から逃げるのにどこに行ったらいいのかわからないうちに津波に飲み込まれてしまったということもあるので、津波だけでなく風水害時どこへ避難したらいいのかを、普段から散歩する中で意識を向けてもらうために、こういうところに盛り込んだらいいと思いました。

○加我座長 はい、ありがとうございます。

my KITAKU MAPのところですかね。はい、ありがとうございます。

続いてございますでしょうか。はい、どうぞ。

○魚谷構成員 魚谷です。

今回、「ふらっと北区」を出していただいて、確かに非常にいい魅力スポットが網羅されています。折角なんで、実際に歩いて回る企画をしていただいてもいいんじゃないかと。なかなか自分で行こうと思っても、つい面倒くさくてなかなか腰を上げないことが多いと思いますので、北区の魅力あるスポットをウォーキングして回るというような企画も実施していただければ、より一層興味や関心が湧くんではないかと思います。北区には、堺の魅力を広げるためにウォーキング等しながら、いろんな堺の名所、旧跡や和菓子のお店を巡る企画を実施しているNPO法人などの団体がたくさんあると思いますので、そういった団体をピックアップして依頼するか、あるいは向こうさんの企画にのっかってホームページや広報紙などでPRして、できるだけたくさんの参加者に来てもらう。必要なのは資料代や保険代等で、あんまり費用をかけずに実施できますので、検討していただければと思います。

○加我座長 はい、ありがとうございます。

ウォークラリーだとか歩いて楽しむというのは、すごく重要なことだと思います。たまたまですけど、うちの学生が堺の中で気持ちのいい街路を見つけて、そこがなぜ気持ちいいのかということを調査したいと言って、堺の中にウォーキングマップを探したら、大学の近所の東区にウォーキングマップがあって、学生が実際に歩いてどこで楽しく感じるかみたいなことの実験を今やっていますが、北区でもウォーキング活動との連携も含めて歩いて巡る企画ということも検討していただけたらと思います。北区公園ガイドブックは、子育て中のお母さんと連携して出来上がったと思いますし、次のアイデアとしてご提案いただけたかと思います。

折角ですので、皆さんからお話をいただいてということで、羽根さん、いかがでしょうか。

○羽根構成員 ありがとうございます。

私はもう子育てはすっかり終わっているのですが、自分の子どもが小さい頃にこういうのがあったらよかったなという感じで資料を拝見させてもらって、子育て支援の取組については素晴らしいと思います。

天野会長がおっしゃったみたいに、高齢者向けの取組もあればいいなと思います。やっぱり自分の周りも高齢者がどんどん増えてきて、認知症の家族を抱えているご家庭から、そういう方と家族を持っている方たち同士で集まって、自分たちの悩みとか語り合える場所があったらいいという声も聞きますし、今後、高齢者に向けた支援も力を入れてもらうといいのではないかと思います。

あと、先日マンションで防災講座と防災訓練を行いまして、防災講座では在宅避難の時の食事の工夫ということで、アイラップを使ったお湯ポチャレシピっていうのを紹介したら結構好評で高齢の方も参加してくださって、一緒に自分たちでも作ってみようということで、楽しくいろいろ学べたっていうことがありましたので、そういう実際に体験できるような企画をしてもらえたら交流の場にもなるのでいいと思います。

それとマンションで従来から防災グッズのあっせん販売を紹介しているんですが、なかなか購入に至らないので、この前、自治会主催のふれあいまつりでイオンさんの協力を得て、あっせん販売を行ったんですね。したら、80名ぐらいの希望者があって盛り上がりました。何かそういう区民の触れ合う場で、「たのしい」つながりにもなるんですけども、そこに防災を入れ込んでいくこともよかったという経験がありました。

○加我座長 はい、ありがとうございます。

「子育ての悩みQ & A BOOK」や今回の新たに紹介のあった「子育てのお悩みお助けBOOK」というのは僕の時代にはなかったんで、時代は変わってきてるのかなと思ったのが正直なところですよ。

先ほどからご意見のあります幅広く高齢者に向けた取組についても、決してないわけではございませんので、改めて振り返っていただいて、今日は、流行りのところを中心になった取組の紹介でしたけれども、不易流行というんですかね、古くからの取組、それをバージョンアップしていくところも含めて、対象を幅広くやっていただければと思います。

あと、幅広い方に向けた情報の窓口となっているのは、広報さかいの後ろの、北区広報紙の面、その中に新しく出てきた「北区部」といったものが、一つの窓口になっているかと思いますし、天野会長を中心に自治会、町内会、老人会等々で取り組んでいただいていることもあろうかと思いますので、またご協力いただければと思います。

では、どうぞ、はい。

○中田構成員 中田です。

資料とか拝見させていただいて、すごく見やすくいいものがたくさんあるので、皆さんがおっしゃられていたように区民の人たちがそういったものに触れられる機会を増やすことが大事かなと思います。掲示する場所を増やしたりとか、SNSを使って発信したりとか、いろいろ工夫があったらいいと思います。

あと、区民がつながるための情報提供、マッチングみたいな、そういった取組もすごくいいと思うんですけど、そういった取組を探すためにホームページにアクセスする人がいるのかどうか少し疑問に思ったので、そういったところも目にする機会を増やすために、区民活動を紹介するInstagramなどのSNSがあってもいいかなと思ったのと、あと「ふらっと北区」はすごくかわいくて、見る人がすごく自発的に読みにいくように感じるので、ホームページも、そういったポップな画面やデザインになるといいと思いました。

あと、先ほどあったご高齢の方の件については、私も祖母が認知症で、それで人と関わる機会が減っているので、そういう機会を増やせないかなと思って自分でも探したりもしたんですけど、ボランティア団体とかも現在活動していないものが多かったり、あとなかなか見つけにくかったりという経験があったので、ご高齢の方が気軽に参加できる活動がもっと分かりやすく、いろんな人がその情報に触れられるような工夫があったらいいと思いました。

○加我座長 はい、ありがとうございます。ご自身の体験も含めてアイデアをいただいたかと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

ほか、もう一巡というわけにはいきませんが、言い残したことはないでしょうか。まだこれからといいますか、一歩一歩といいますか、一つ一つだと思いますので、今日、皆さんのお手元にカラフルなものを見ていただいて、内容が非常に充実し、ポップという言葉もいただいて、おしゃれで手に触れてみたいというものでいいと思います。それをどうお手元に届けていくか。子育ての世代の方、ご高齢の方、それぞれに届けられる工夫、「たのしい」の中に少し防災、災害時のことも触れながらという工夫が大切だと思いますので、横のつながり、横の連携も大事にいただければと思います。

では、もう一つの新たな取組の報告もいただいてご意見いただきたいと思います。北区「はっぴーすまいるプロジェクト」について、ご説明をよろしくお願いします。

○事務局（増川） はい。それでは資料の13ページから、資料3「『たのしい』でつながる」新たな取組になります。そちらをご覧ください。

区民参加型の健康啓発により、「『たのしい』でつながる」を具現化する新たな取組としまして、北区「はっぴーすまいるプロジェクト」を始動していますので、ご報告いたします。

子どもに人気の「はみがきうさぎ」というかわいいキャラクターを北区民と一緒に「たのしい」を広げる「北区おうえんたいし」として、今年2月に任命しております。まずは任命までのいきさつを動画にまとめておりますので、窓側モニターをご覧ください。

（動画視聴）

○事務局（増川） ご視聴ありがとうございました。

子育て世帯に向けた北区の一大イベント「北区子育てフェスタ」で、昨年ダンスステージに出演しました「はみがきうさぎ」ですが、その時の子どもたちの盛り上がりぶりから「北区おうえんたいし」に抜てきしております。「おうえんたいし」と子どもたちが一緒に、北区内に健康啓発を呼びかける区民参加型のプロジェクトとなっております。

14ページにお進みください。

区民参加型の取組として、子どもたちが描いた歯と口の健康絵画により北区役所エントランスホールでの展示や、広報紙など各種媒体で作品とともに関連する健康ポイントを発信してまいりました。また、子どもたちのみならず、健康ボランティア団体や高齢者いい歯自慢コンテスト受賞者にも参加してもらい、広報紙やホームページなどで健康啓発を呼びかけるメッセージを発信しております。

15ページにお進みください。

子育てフェスタでダンスステージが人気を博したはみがきうさぎは、ダンスが得意なキャラクターです。歯と口の健康啓発や食育に関する楽曲に乗せてダンスを踊るステージを、先月末、区内のこども園、保育園に届けてまいりました。園児たちと楽しく一緒に踊る様子を撮影した動画を編集しまして、今年12月に開催する子育てフェスタで「みんなも一緒に踊ろう」と呼びかける動画を今月中に公開予定です。

次に、子どもたちの歯磨き習慣を促すカレンダーと、それに貼るごほうびシール、親、祖父母世代へプロジェクトを広げる狙いで、家族へのメッセージシールの作成を今後企画しております。

次のページにお進みください。

前述のとおり、来る12月8日日曜日、イオンモール堺北花田で開催の子育てフェスタでは、「北区おうえんたいし」の「はみがきうさぎ」が健康啓発を図るダンスで子どもたちと盛り上げるステージを披露します。参考資料5のパンフレットのとおり、家族で一日楽しめる催しが盛りだくさんのイベントとなっておりますので、構成員の皆様からもお知り合いの子育て世帯の方にご紹介いただけましたら幸いです。

最後に、来年度に予定しています取組のご紹介です。

北区で暮らす子どもからご高齢の方まで、全ての人がいつまでも健康で楽しく暮らせるように、北区民に

健康啓発を促す北区オリジナルバージョンのダンスを、「北区おうんたいし」の「はみがきうさぎ」と創作する予定をしております。創作やPR動画の出演においても、北区民の皆さんに参加していただこうと考えているところです。

以上、「『たのしい』でつながる」新たな区民参加型のプロジェクトについてのご説明となります。

○加我座長 はい、ありがとうございます。

今回、新たに「北区おうんたいし」として「はみがきうさぎ」さんが任命されたということ、これは北区で暮らす全ての人がいままで楽しく過ごせるように、子どもから高齢の方まで歯磨きはもう健康の第一歩ということだと思います。それらを啓発するための区民参加型の取組ということでございます。

これだけ取り立ててということでもなく、先ほどの議案1に関連してだと思いますが、はッピーすまいるプロジェクトについてご意見、ご質問等をいただければと思います。はい、どうぞ。

○吉村構成員 吉村です。

令和6年2月から「北区おうんたいし」に任命された「はみがきうさぎ」が出演する子育てフェスタも私、関わらせていただいているので、ちょっと子育てフェスタに戻りますが、例えば「パパの子育てお悩みお助けBOOK」や「子育ての悩みQ & A BOOK」、この辺ももちろん子育てフェスタで展示したり配架できるように用意されると思うんですけど、置いとくだけではなかなか啓発にはならないと思うので、12月8日開催までに今からできることはないかと考えた時に、例えば防災コーナーで、さっきの防災の動画を横でずっと流しておくとか、何かちょっとプラスアルファできることがあったらいいなと思いました。そして子育てフェスタのパンフレットを見れば、全て今日の政策会議に出ている「『たのしい』でつながる」という媒体が全部このイベントに網羅されているなと思っていました。うさぎさんはいますし防災もありますし、子育ての冊子ももちろんありますし、掲示や展示の仕方でも随分見え方が違うかなと思いますので一工夫できたらいいなと感じています。

そして、うさぎさんが年に1回子育てフェスタだけでなく、至るところで出てくるといいなと思いました。これまでの制作物には難しかったけれども、今後、成果物ができる時には、折角の「北区おうんたいし」なので親しみを感じるキャラクターを通じて、歯磨きを通じて、食育や健康、楽しい生活につながるいいと思いました。交流まつりは天候の加減で非常に残念でしたが、そこにちょっとうさぎさんがいるだけでもっと盛り上がるかなって思いましたので、せっかくの応援大使なので、いろいろ応援していただけたらいいなと感じます。

○魚谷構成員 ちょっと一つだけいいですか。

○加我座長 はい、ありがとうございます。どうぞ、一つと言わずに。

○魚谷構成員 今、吉村さんから話がありましたけれども、今回の子育てフェスタの中に、1階ウェルカムコートで防災の展示会がありますね。これも非常にいいことだと思います。

それから、やっぱり北区には15校区ございますね。各校区にまちづくり協議会というのがございまして、色んな校区で毎年1回か2回はイベントをやっておられるんですね。できましたら北区の校区の中のイベントの時にも、隅っこでも結構ですから展示などで防災を絡めてもらいたいと思います。北区の基本方針は3つありますけれども、これ全て一緒に、子育ても絡められるといい。例えば防災の中で子育てもやる。子育ての中で防災もやると。

なぜこういうふうに申し上げるかといいますと、防災に関する意識というのは、新聞で読みましたら、2か月が経つと皆さん忘れるんだと。大災害が起こった当初、コーナンへ行きましたら防災グッズはほとんど売り切れていました。これしばらくすると、そろってくるんですね。私もそうなんですが、その時は水を準備しよう、保存食品も買い込んでおこうと思って準備するんですが、なかなか長続きはしないんですね。そういう経験があるものですから、いろんなイベントの中に防災の要素を入れて、間を開けずに継続して啓発することが必要だと思います。来る11月30日に開催する北区のボランティアフェスティバルでは、昨年と同じようにステージの昼休みの間に公立大学の学生さんたちをお願いして防災のクイズをやりますし、防災士会の皆さんのご協力を得て防災のコーナーを設けて啓発をしたいと考えています。ボランティアフェスティバルは毎年1回なんですけど、できれば来年度以降も、社協の北区事務所の皆さんに協力を得ながら防災を含めてやっていきたいと思っています。これは我々ボランティア連絡会だけでなく各々がそういった自分たちの身近にできることをやっていくということが、いろんな北区の区民協働の取組に求められていると思います。

○加我座長 はい、ありがとうございます。

子育てファミリーのための防災ブックも素敵なおもちゃでしたね。そちらもうまく活用して、防災と子育て、防災と何かみたいなことでうまくつながっていただければと思います。

ほかありますか。はい、どうぞ。

○坂江構成員 感想ですけども、子育てフェスタ、前回子どもと一緒に参加したんですけど本当に素晴らしかったです。力が入ってるなというのが伝わってきましたし、未就学児の子ども2人、とっても楽しんでました。2歳とか3歳の子ども、寒い時期にどこに連れて行こうかと皆さん迷われるところだと思うんですけど、それに対して今日はあそこへ行ったら楽しいことがあるよという企画を、行政や子育て支援関連団体の実行委員会がメインになってしている姿勢が本当に嬉しいなという感じです。

スタンプラリーがすごくいいなと思いました。例えば、防災関係のブースが一番端っこにあるんですね。これはぼーっとしてたら見過ごしてしまうかもしれないんですけど、スタンプラリーがあることでちゃんと一番向こうまで行ってみようというつくりになっていて、すごい工夫がされてるなと思いました。

実際に子どもが楽しんでたことで言いますと、絵本の読み聞かせですね。それからプチ演劇、それからクラシックのライブも興味を示してたんですけど、一番楽しんでたのがはみがきうさぎさんのダンスでした。本当にその場がすごく盛り上がっていて、子どもたちが楽しそうに踊ってるんですね。はみがきうさぎの前振りのプチ健康講座では、クイズと一緒に早起きをしたらこんないいことがあるんだよという説明があったんですけど、それも子どもが結構うんうんみたいな感じで聞いていて、これはもうぜひ続けていただきたい取組だと思います。

イオンモールはちょっとしたホールがあったと思うので、さっきのMr. SYUさんの動画とか、はみがきうさぎのダンス動画のような子どもが楽しめるような動画を今後も作っていくのであれば、椅子を並べて大きいスクリーンに映して出入り自由にして、みんなに見てもらえる機会をつくるのもいいと思いました。動画の上映とかお話を聞くイベントは、子どもは楽しんでるし大人は座れてちょっとした休憩にもなりますし、そういった上映会の形も考えていいのかなと思いました。

○加我座長 はい、ありがとうございます。

野田さん、お願いします。

○野田構成員 はい。はみがきうさぎですけども、私が通ってる歯医者さんの受付のところに動画がいつも流れてまして、これまでは世界遺産の動画だったんですけど、先日歯の検診に行ったところははみがきうさぎの動画が流れてたんです。わーっと思って、北区のおうえんたいしに任命されたってだけあって、本当に広がっているんだなと思ったんですね。就学前の保育施設等を訪問っていうのは、すごくかわいいキャラクターでやはり、お子さんが喜ぶキャラクターだと思いますので、令和7年のダンスが完成しても、定期的にそういう施設を回るような取組は続けていただきたいと思います。

あとは防災のことで言うと、もし地震が起きた時に歯磨きってどうするんだろうってとても思いました。防災は、食べ物や水や非常用トイレなどには目を向けてるんですけど、歯磨きなど歯のケアは被災時から復興するまで疎かになりがちと思うので、せっかく防災のことも力を入れるのであれば、はみがきうさぎとつなげて、被災時はこういう歯磨きグッズがあるよなどを紹介して、相互で啓発していけたらいいのかなと思います。

あと、これは「『たのしい』でつながる」ということで、今の健康状態をより良くという面で、「はみがきうさぎ」のキャラクターなどで楽しい企画をしていると思うんですけども、気になることは子ども食堂とかに来る貧困家庭のお子さんの歯のことですね。貧困家庭や何か事情があって子育てを放棄されている家庭のお子さんというのは、口腔衛生の状態がすごく悪いと聞きます。保健センターで、1・2歳だったら無料のフッ素塗布や歯の検診などがありますが、大きくなってからは小学校の歯の検診ぐらいで、歯医者に連れて行ってくれないようなご家庭だったら、どうしても歯のことは放ったらかしになってしまうと思うんですね。なので、子ども食堂のような場所で歯のケアの取組が何かできるといいなと思いました。

○加我座長 はい、ありがとうございます。

誰一人取り残さずということについて、どうぞご検討いただければと思います。

保健センターのほうで何か取組等ございますか、よろしいですか。

○事務局（藤井保健センター所次長） 「健康のつどい」というイベントで、健康情報の発信、主に啓発を軸にした取組を実施しております。来場してくださる方は比較的年齢の高い方が多いんですけども、歯科衛生士も出務しますし、歯の健康についてお伝えしますので、多くの方にご来場いただきたいと思います。

1月の第4土曜日、今年度は1月25日に、午前中からお昼過ぎまで実施する予定です。

それと、資料にも出している歯磨きカレンダーとシールですけど、こちらはお子さんが来てくださる健診でも啓発として配布を予定しております。

○加我座長 はい、ありがとうございます。

あと、お困りになられている方々へもPRといいますか、情報発信ができるように少しケアをいただければと思います。ありがとうございます。

では、いろんなイベントが目白押しだと思いますし、プログラムがさらに充実していくことだと思います。一方でいろんな情報がありますので、なかなか目を凝らさないと見つけにくいという側面があります。北区広報紙に随時発信があらうかと思います。そちらのほうでしっかりお伝えいただくということと、ホームページはよくなったと

思うんですが、まだちょっとおしゃれじゃないというご意見もありましたので、デザインなどもまた考えていただければと思います。ホームページにわざわざ情報を取りに来るかという課題はございますけど、こうした情報配信というのは区民の皆さんにもしていただいてつながっていくということだと思いますので、それぞれの中で情報交流していただければと思います。ホームページの訪問者に、北区の取組をしっかりとPRできるよう意識していただければと思います。

では、本日いただいていた議題は以上でございますので、進行のほうを事務局にお返ししたいと思います。よろしくお願いします。

○事務局（増川） 構成員の皆様、本日はありがとうございました。

本日いただきましたご意見を参考に、いろんな「たのしい」でつながる区民協働の地域共創の取組をより効果的に進めてまいります。

次回、来年2月頃に開催予定の第4回会議では、12月に実施しますアンケート調査結果のご報告をさせていただきます。これを基に、次期ビジョンの方向性についてご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務連絡は以上となります。

それでは、本日の北区政策会議を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。